

飲食経営者のためのAI実装ガイド

飲食AIツール 完全ガイド 2026

～バックヤードからメニュー開発まで、24本を中立に並べた～

AIツールが急増した今、経営者の頭を悩ませているのは「何を入れるか」より「何から手をつけるか」。本ガイドでは、飲食現場で実際にコンサルする立場から、6カテゴリ24本を価格・推し度・導入難易度つきでフラットに並べた。ベンダーの宣伝資料ではない、経営判断のためのカタログ。

- ▶ バックヤード／経理／原価／マーケ／データ分析／メニュー開発の 6領域 × 24ツール
- ▶ 各ツールに 価格レンジ・推し度(★1-5)・導入難易度 を明記
- ▶ 巻末に 導入5ステップ & ありがちな失敗4つ を収録

対象	飲食企業の経営者・本部スタッフ
分量	A4・約6ページ
発行	合同会社メシゴト(2026年5月)
注記	料金は変動。導入前に必ず公式で再確認

はじめに

飲食AIツールは2024年から2026年で一気に増え、月額数千円から導入できるものが当たり前になった。一方で「結局どれを入れればいいのか分からない」「PoCで止まる」という相談が、現場から絶えない。

このガイドはツールベンダーの宣伝資料ではない。飲食20店舗規模で実際にコンサル現場に立つ立場から、「最初に触るならこれ」「規模が出たら乗り換える先はこれ」という観点でフラットに並べた。読者が自社の優先順位を決められることをゴールにしている。

ツールはあくまで道具。現場のオペレーションが固まっていない店にAIを入れても効果は出ない、という前提だけは最初に共有しておきたい。本ガイドのツールは、いずれも「業務フローが整っている」ことが前提条件。

6カテゴリ俯瞰表

#	カテゴリ	解く課題	月額レンジ目安	効果が出やすい規模
1	バックヤード(シフト・勤怠・労務)	シフト作成時間、欠勤対応、人件費可視化	0~3万円/店	1店~全規模
2	経理・会計	仕訳・請求書処理・月次締め	1~5万円/社	法人全般
3	原価・在庫・発注	フードロス、欠品、棚卸負担	2~8万円/店	5店舗以上で効果大
4	マーケティング・集客	予約導線、口コミ、SNS、CRM	1~10万円/店	全規模
5	データ分析・BI	売上・客数・原価のリアルタイム可視化	2~10万円/社	3店舗以上
6	メニュー開発・販促物	試作の高速化、写真・コピー量産	0~3万円/社	全規模

本ガイドの読み方

各ツールには「推し度(★1~5)」と「導入難易度(易 / 中 / 難)」を付けた。★5=多くの飲食企業で第一候補、★3~4=条件次第で強い選択肢、★1~2=特定の規模・業態でのみ有効、という目安。価格は2026年5月時点の公開情報で、変動する点に注意。

PART 1 バックヤード(シフト・勤怠・労務)

人件費は売上の25~30%を占める最大コスト。シフト作成だけで店長が月10時間以上奪われている店が多い。AIシフトと勤怠を組み合わせるだけで、店長の事務時間が半減する事例が増えている。最初に手をつけるなら、ここが投資対効果でいちばん速い。

ツール名	価格(月額)	特徴	推し度	難易度	URL
HRMOS勤怠	30名まで無料/31名~100円・人	勤怠特化、ICカード打刻に強い、シンプルで現場が迷わない。中小チェーンの最初の一步	★★★★★	易	hrmos.co/kintai/
Airシフト	110円・人	リクルート提供。LINE連携でスタッフが希望シフトを送れる、現場リテラシーが低い店でも回る	★★★★☆	易	airregi.jp/shift/
Sync Up	要問合せ(300円・人前後)	リクルート提供のチェーン向け。AI自動作成+人件費シミュレーション、本部視点が強い	★★★★☆	中	sync-up.jp
R-Shift	月3万円~/50店舗単位の見積もり	AIで月次シフトを1分で生成、シフト作成時間75%減の実績。20店舗超で効く	★★★★☆	中	公式サイトで検索

PART 2 経理・会計

仕訳・請求書の入力作業はAI-OCRで9割削減できる。月次締めが10日かかっている会社が3日になれば、経営判断のスピードが変わる。**クラウド会計+OCRの組み合わせは2026年時点でほぼ標準装備**になった。

ツール名	価格(月額)	特徴	推し度	難易度	URL
freee会計	2,680円～(ミニマム)／法人プラン	AI仕訳学習、銀行・カード自動連携。10店舗以下の飲食法人に最適	★★★★★	易	freee.co.jp
マネーフォワードクラウド会計	3,980円～	部門別管理が強く、店舗別PLを出しやすい。多店舗化したら乗り換え候補	★★★★★	中	biz.moneyforward.com
invox(受取請求書)	1万円～	AI-OCR精度が高い、紙・PDF・メール添付すべて自動仕訳。経理工数が一気に消える	★★★★☆	中	invox.jp
Bill One	要見積もり(5万円～想定)	Sansan提供。請求書受領を一元化、電帳法対応で監査も楽。本部経理がいる規模向け	★★★★☆	中	bill-one.com

PART 3 原価・在庫・発注

飲食の利益率はFL(食材+人件費)で決まる。発注AIで欠品とロスと同時に潰せれば、F率1～2pt改善は十分狙える。**月商500万円の店ならそれだけで年間60～120万円の利益改善**。

ツール名	価格(月額)	特徴	推し度	難易度	URL
HANZO 発注AI(Goals)	要見積もり(3～8万円／店想定)	過去販売・天気・イベントから需要予測、発注書を自動生成。フードロス20～30%減の事例	★★★★★	中	goalsinc.jp
クロススマート(仕入れ管理)	月1万円前後／店	仕入先とのFAX・電話発注をデジタル化、価格変動も見える化。地方の卸文化に強い	★★★★☆	易	service.xmart.co.jp
infomart BtoB	要見積もり(1～3万円／店)	大手卸との発注インフラ。すでに使う卸が乗っているか確認、乗っていれば最強	★★★★☆	中	infomart.co.jp
kintone+ AIプラグイン	1,500円・人～+プラグイン費用	自社の原価表・棚卸フローをノーコードで作り込める。「自社業務に合わせる派」の本命	★★★★☆	難	kintone.cybozu.co.jp

PART 4 マーケティング・集客

予約・口コミ・SNS・CRMはAIで自動化が一気に進んだ領域。**Googleビジネスプロフィールと予約システムをつなぎ、口コミ返信をAI下書きにするだけで、店長の負担が大きく減る**。

ツール名	価格(月額)	特徴	推し度	難易度	URL
TableCheck	2万円～／店	予約・顧客管理・「インサイト予測」で売上予測。AI電話予約も搭載、フルラインで強い	★★★★★	中	tablecheck.com/ja/
トレタ	1.2万円～／店	予約台帳の老舗、AI電話予約「予約番」が国内最大級の導入数。中小～中堅で安心	★★★★★	易	toreta.in
口コミコム	1万円～／店	Google・食べログ・Retty等の口コミ・順位を一元管理、AI返信下書き付き	★★★★☆	易	kuchikomi.com
LINE公式+ Lステップ	2,980円～+運用費	CRMの王道。AI配信最適化+セグメント配信でリピート率を上げる、自社の客との直接接点	★★★★★	中	lstep.app

PART 5 データ分析・BI

POS・予約・勤怠・会計のデータが店舗ごとにバラバラだと、本部は判断が遅れる。BIに集約してダッシュボード化すれば、「なぜ今月の利益が落ちたか」が翌日に分かる。多店舗化のタイミングで必須になる。

ツール名	価格(月額)	特徴	推し度	難易度	URL
スマレジ (POS+分析)	0~1.2万円・店	POS自体に時間帯別分析・ABC分析が標準搭載、小~中規模店なら追加BI不要	★★★★★	易	smaregi.jp
Looker Studio (旧Google DS)	無料	スマレジ・freee・スプレッドシートを一枚のダッシュボードに、コストゼロでBIを始める	★★★★★	中	lookerstudio.google.com
ChatGPT Data Analyst / Claude Projects	月3,000~6,000円・人	CSVを投げるだけで売上要因分析・離反予兆を出してくれる、本部の分析担当の即戦力代わり	★★★★☆	易	claude.ai / chat.openai.com
Tableau / Power BI	1~8万円・人	本格BI、20店舗超でデータ量が増えてきたら検討。導入は外部コンサル前提	★★★★☆	難	tableau.com / powerbi.microsoft.com

PART 6 メニュー開発・販促物

試作・撮影・POP制作はAIで作業量が10分の1になる領域。完成品をそのまま使うのではなく、「たたき台をAIに高速で作らせて、人が仕上げる」のが勝ちパターン。

ツール名	価格(月額)	特徴	推し度	難易度	URL
ChatGPT / Claude (メニュー開発用途)	月3,000~6,000円・人	食材原価×粗利目標×トレンドからメニュー案を100案、商品名・キャッチも同時生成	★★★★★	易	chat.openai.com / claude.ai
Canva (AI機能込み)	無料~1,500円・人	POP・メニュー表・SNS画像をテンプレ+AI生成で量産、デザイナー不要レベルに到達	★★★★★	易	canva.com
Midjourney / Nano Banana	月1,200~3,000円・人	料理イメージのコンセプトビジュアル生成、メニュー開発初期の議論用に強い	★★★★☆	中	midjourney.com / gemini.google.com
Suno (BGM生成)	月1,500円~	店舗BGMをオリジナル生成、著作権リスクを下げつつ世界観を作れる、ブランド店向け	★★★★☆	易	suno.com

AI導入の5ステップ

ツールを選ぶより、「どう入れるか」のほうが10倍重要。多くの会社が止まるのは選定ではなく定着のフェーズ。以下の5ステップは、業種・規模を問わず通用する汎用論。

- 1 課題を1つに絞る。**「AIを入れる」ではなく「シフト作成時間を月10時間減らす」と数字で書く。曖昧な目的のままツール選定すると、必ず迷走する。
- 2 3ヶ月の小さなPoCから。**1店舗・1業務・1ツールで始め、効果を数字で取る。最初から全店展開は禁忌。
- 3 オペレーションを先に整える。**業務フローが曖昧なままAIを入れると、失敗を高速化するだけ。マニュアル化・標準化が先。

4 本部に「使い倒し担当」を置く。現場任せでは絶対に定着しない。本部に1人専任を作り、ツールごとの活用度をモニタリングする。

5 3ヶ月ごとに棚卸し。効果が出ないツールは止める、合うものにも乗り換える勇気を持つ。「契約したから使い続ける」は最悪のパターン。

ありがちな失敗パターン4つ

同時に5ツール入れて全部止まる。現場が混乱、結局Excelに戻る。1つずつが鉄則。

「AIに任せれば何でもできる」と過大期待。AIはあくまで補助、判断は人が握る前提を忘れない。

データが汚いまま分析を始める。POSの商品マスタがバラバラだとBIは機能しない、整備が先。

店長に丸投げ。「使い方は現場で覚えて」では定着しない。本部が伴走しないと続かない。

次のステップ

ツールの選定は入口にすぎない。自社の課題に合うものを選び、現場に定着させ、数字で効果を測るところまで行って初めて投資が回収できる。「どこから手をつけるべきか分からない」「PoCを始めたが効果が見えない」段階の経営者には、合同会社メシゴトのコンサルティング(COO代行・多店舗展開支援・AI導入伴走)を月額固定で提供している。

飲食現場の泥臭さを知ったうえでAIを使い倒す、というのが私たちの立ち位置です。

meshigoto.com

info@meshigoto.com

発行 合同会社メシゴト (Meshigoto LLC) / 2026年5月

所在地 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目27-16 ハイシティ代々木303

連絡先 info@meshigoto.com / meshigoto.com

許認可 有料職業紹介事業許可 13-ユ-319343

注記 本ガイドの内容は2026年5月時点の公開情報に基づき、料金・機能は変動する場合があります。導入時は必ず各社公式サイトで最新情報を確認してください。

© 2026 合同会社メシゴト